

●身の回りのものをみてみよう。
●なんであるのだろうか。
●だれかが考え出したからである。
●身の回りのものの数の分だけ、
●そこには発明があるのである。
●これからも発明は続くだろう。
●つまり、身の回りのものはふえて
●いくのである。
●みんなも何か一つ発明をしてみ
●はどうかだろうか。
●私はきのう、歯をみがいている時
●に次のような物があつたらいいな
●と考えた。
●3分みがこうと言ってもふざけて
●しまう子に、歯ブラシに、みがい
●ただ分だけ、数字が上がっていく、
●まるで万歩計のようなものをつけ
●るのである。これで何回みがいた
●かがわかるようになり、手をぬく
●子がへるのではないかと考えた。
●発明とは「あつたらいいな」を形
●にしたものなのではないか。

